

2021年2月期第2四半期決算説明会（2020年10月22日開催）質疑応答要旨

Q 1.第2四半期での受注について、営業利益増益の要因について説明して欲しい。

A 1.第2四半期においても、請負案件や派遣案件、官公庁様、BPO 事業者様、一般事業者様など様々なお客さまからおかげさまで数多くの案件を受注させていただきました。そのことにより、売上高が予想を上回り、また、現状は、スタッフの採用が好調であったことも、案件構築費用が削減でき、売上高の増加に加え増益になった要因の一つであります。

Q 2.同一労働同一賃金への対応についてどのように取り組んだのか？

A 2.当社に限らず、人材派遣会社各社が前期に積極的に取り組んだことですが、全てのお客さまと料金交渉をさせていただき、スタッフの皆様へ適切な還元をさせて頂いております。プライシングについては、競争力及び品質の向上に寄与する重要ポイントだと認識しております。

Q 3.B P O 案件について今後の見通しはどう考えているのか？

A 3.期間限定案件もあり長期化想定案件もあります。期間限定の案件であっても、お客さまからのより良い評価を得ることが重要であり、運用品質を重視して取り組んでおります。

Q 4.現在の業績に繋がった要因はどこにあるのか？

A 4.従来から、お客さまのすそ野を広げて関係性を深める取り組みを行ってきております。その結果がお客さまからの信頼につながり、当社の人材が育ち、また、スタッフの皆様が当社のファンとなっていただき、今期の成果につながっていると思われれます。

Q 5.デジタル庁新設などについて

A 5.公共の民間委託の流れの中で、当社はマイナンバー、マイキー等取り組んでおり、一定のマーケットの拡大は今後もあるであろうことから、ビジネスチャンスの可能性があると考えてます。

以上